



令和元年12月12日03時30分
札幌管区気象台

令和元年12月12日01時09分頃の宗谷地方北部の地震について

**宗谷地方で震度5弱を観測
今後の地震による落石や崖崩れ、屋根からの落雪、傾斜地でのなだれに
注意**

1. 地震の概要

発生日時 : 12月12日01時09分頃 (日本時間)
場所 : 宗谷地方北部
深さ : 7 km (暫定値)
マグニチュード : M4. 2 (暫定値)
北海道の最大震度: 【震度5弱】
宗谷地方の豊富町
(別紙「震度分布図」の資料を参照願います。)
地震のタイプ : 陸域の浅い地震
(別紙「地震のタイプの模式図」の資料を参照願います。)

2. 防災上の留意事項

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起りやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。

また、積雪の多い地域では、屋根からの落雪や傾斜地でのなだれに注意してください。

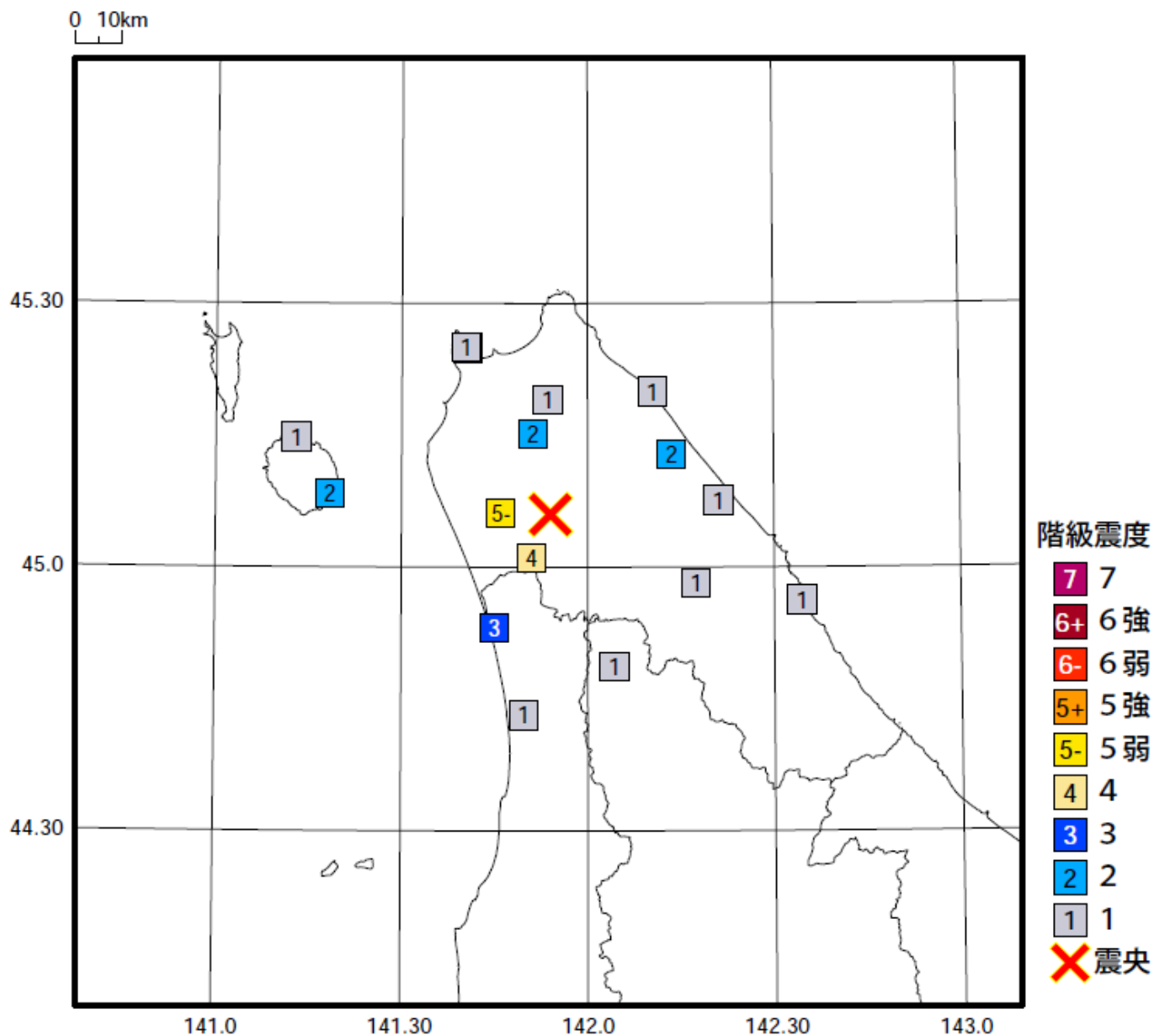
過去の事例では、大地震発生から1週間程度の間と同程度の地震が発生した事例は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5弱程度の地震に注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くあります。

3. その後の地震活動の状況

今回の地震発生後、12日02時40分現在、震度1以上を観測した地震は発生していません。

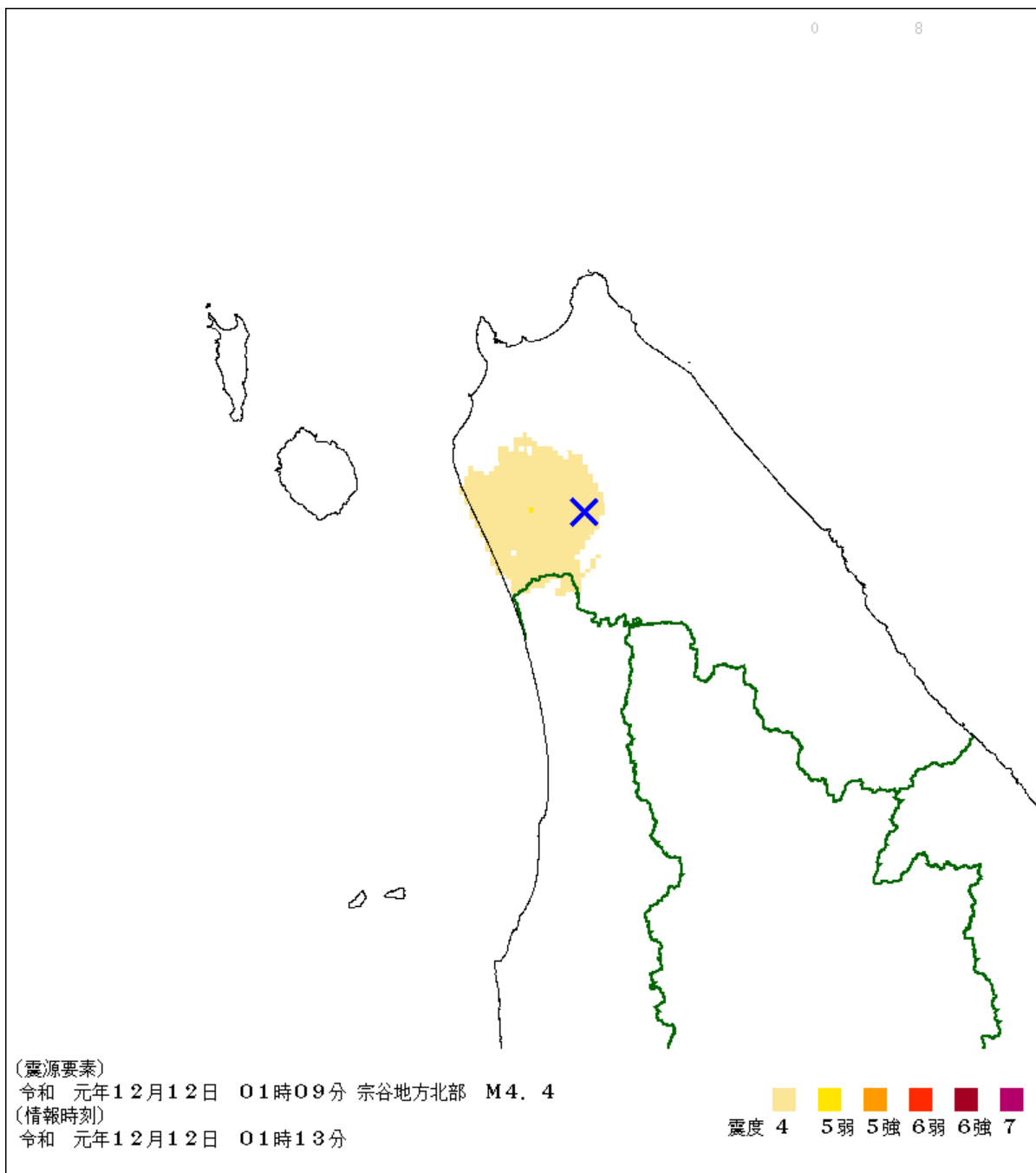
令和元年12月12日01時09分頃の宗谷地方北部の地震について

北海道地方の各観測点の震度分布図



令和元年12月12日01時09分頃の宗谷地方北部の地震について

【推計震度分布図】



震度4の地域では、座りの悪い置物が倒れるなどしている可能性があります。

<推計震度分布図利用の留意事項>

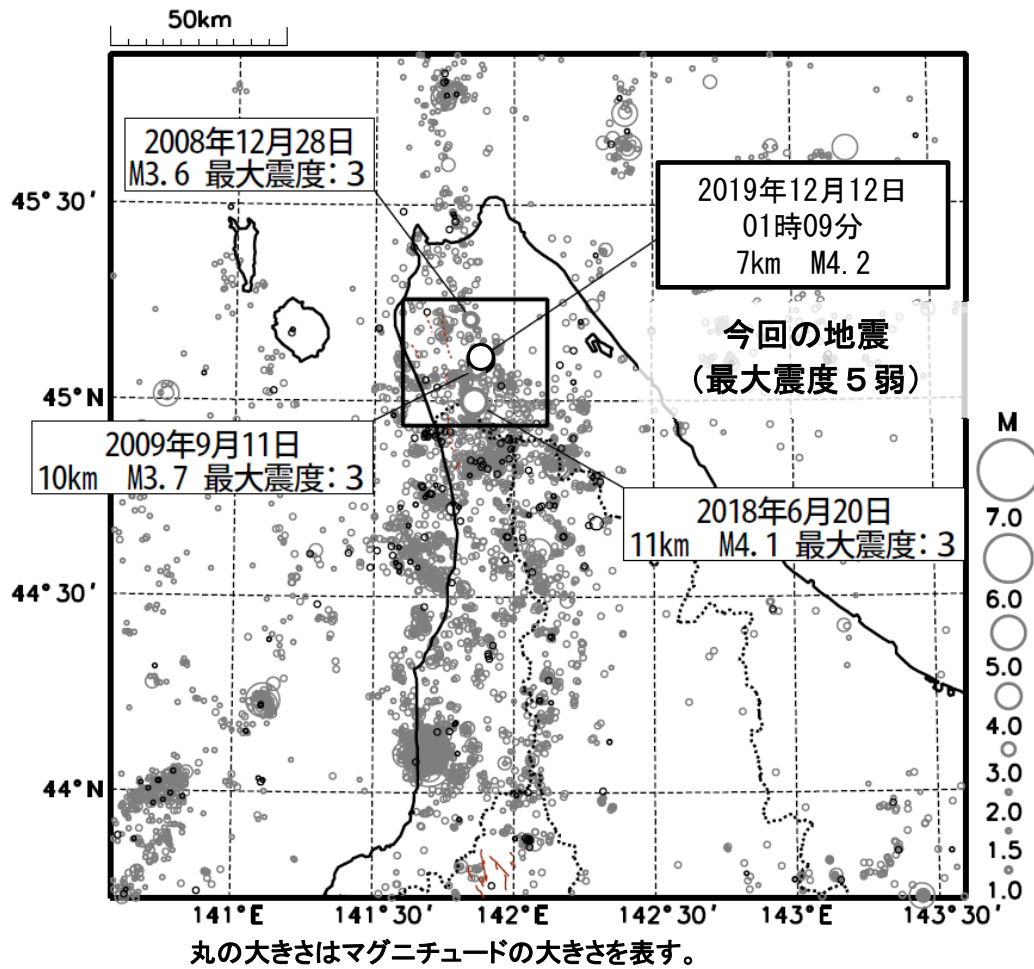
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがあります。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれますので、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがあります。

このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用下さい。

令和元年12月12日 宗谷地方北部の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

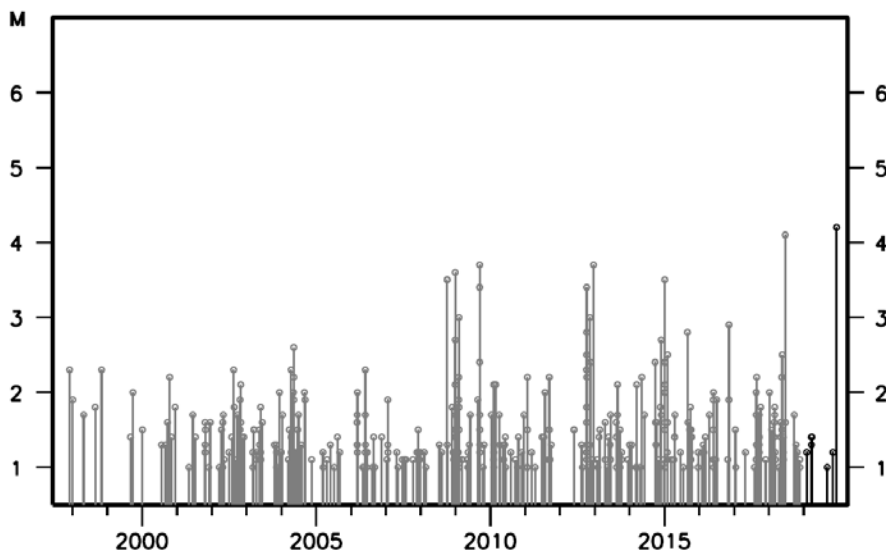
(1997年10月1日～2019年12月12日01時30分、深さ0～30km、M1.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

震央分布図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

上図の四角形領域内の地震活動経過図

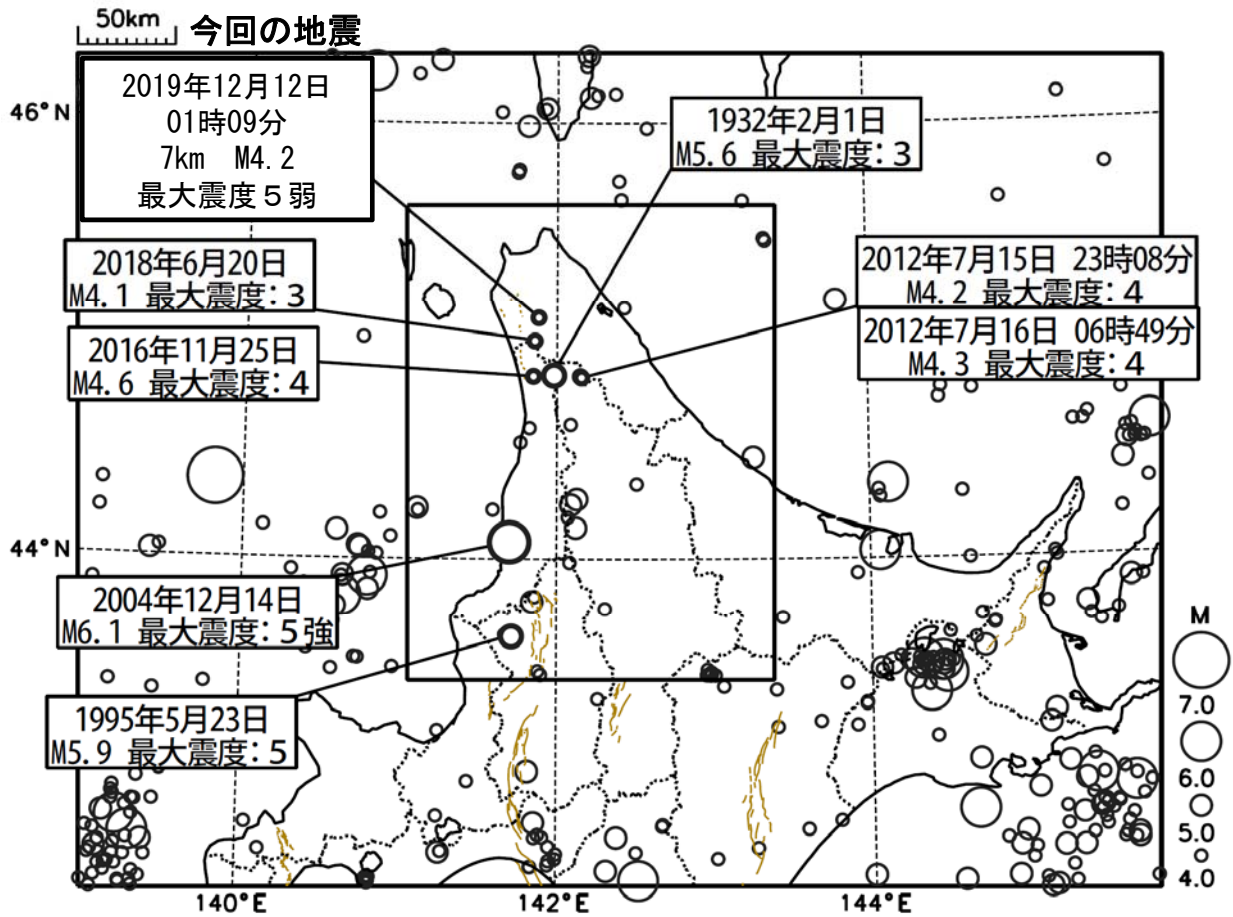


横軸は時間、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

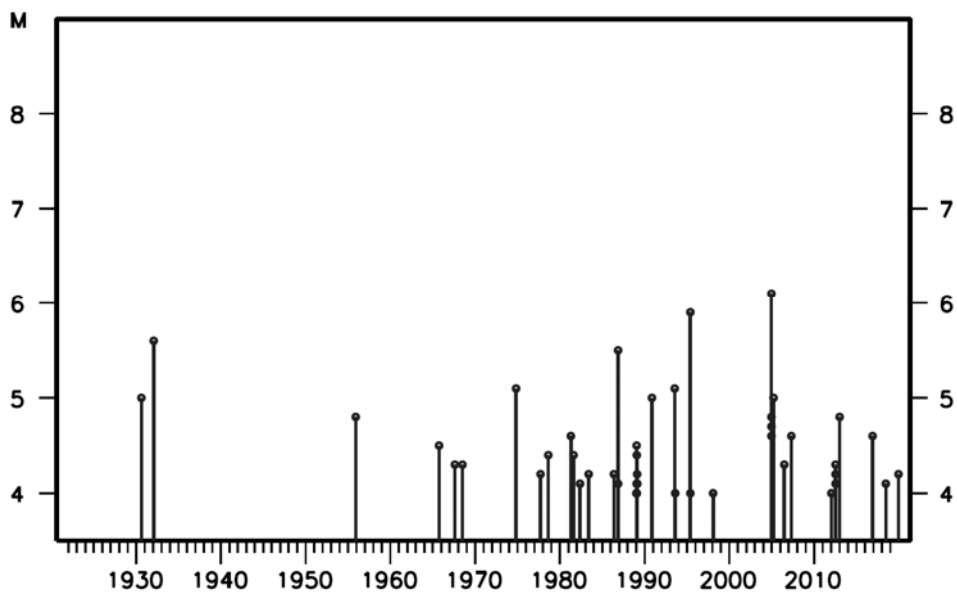
令和元年12月12日 宗谷地方北部の地震 (周辺の過去の地震活動)

震央分布図

(1922年1月～2019年12月12日01時10分、深さ0～30km、M4.0以上)



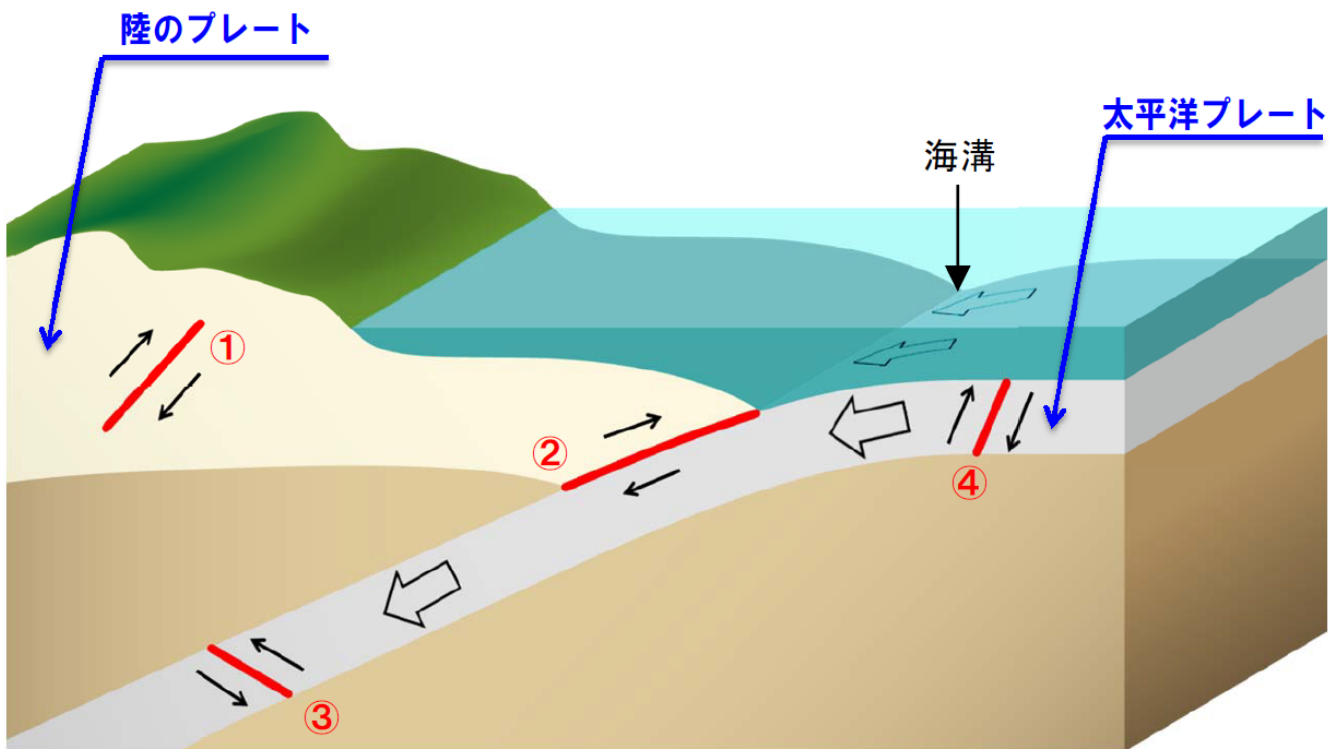
上図の四角形領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

【地震のタイプの模式図】

今回の地震は、
陸のプレートの浅い所で
発生した地震です(①)。



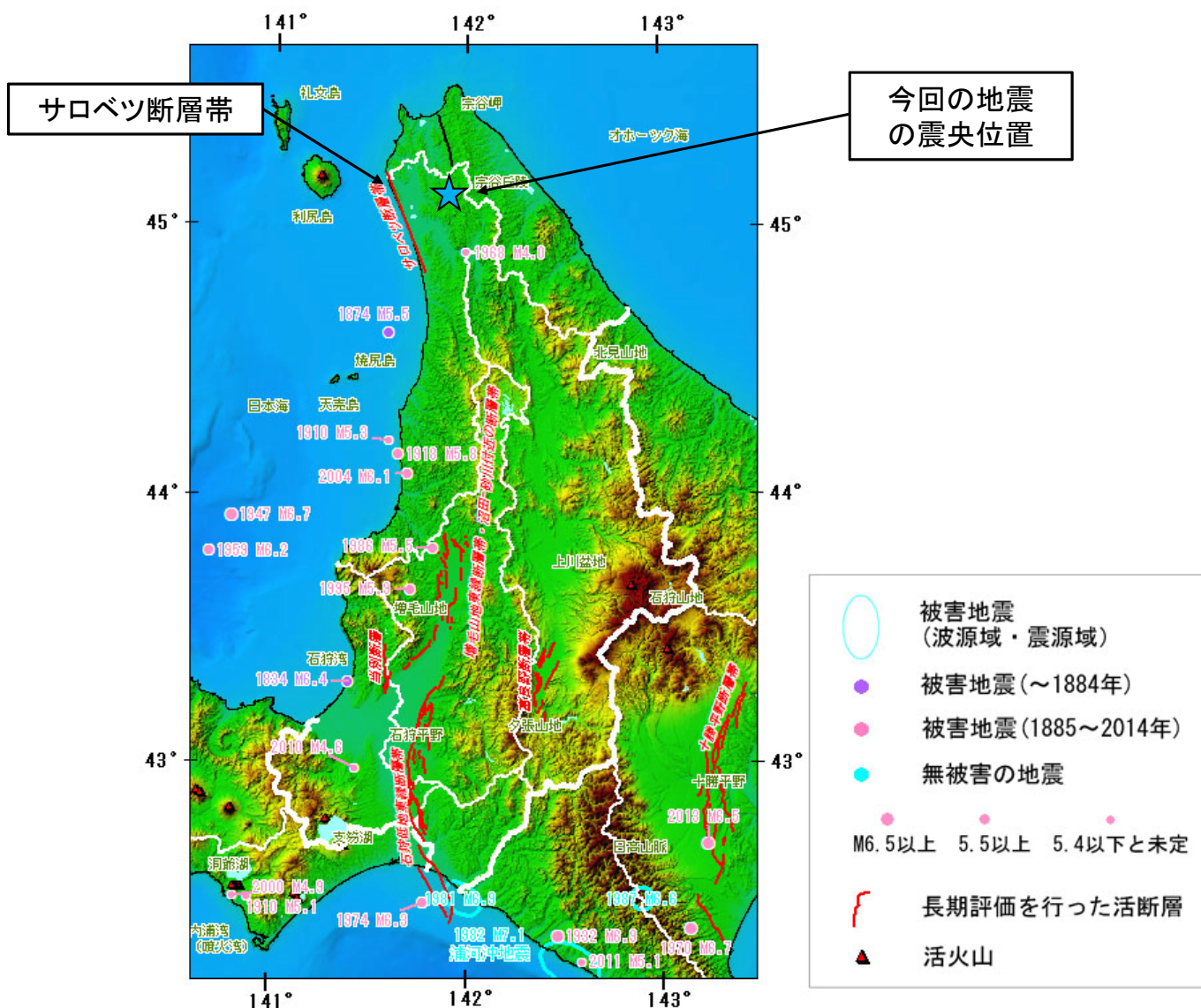
はプレート運動を示す



は断層運動を示す

- ①: 陸のプレートの浅い所で発生した地震
- ②: 太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震
- ③: 太平洋プレート内部の深い所で発生した地震
- ④: 海溝より南側の太平洋プレート内部で発生した地震

12月12日01時09分の宗谷地方北部の地震の震源周辺の活断層について



周辺の活断層

○今回の地震の震源周辺には、サロベツ断層帯が存在します。

過去の例

○過去には、2005年の福岡県北西沖の地震(M7.0)のように、大きな地震の後、近くの活断層(警固断層帯南東部)は活動せず当初の地震活動域が広がらなかった例もあれば、1930年の北伊豆地震(M7.3)のように、近くの活断層(北伊豆断層帯)が活動し、当初の活動域が広がった例もあります。

○「平成28年(2016年)熊本地震」では、M6.5の地震が発生した2日後に、隣接する別の活断層でより規模の大きな地震が発生しました。

留意事項

○過去の例のように、今回の地震の周辺に存在する活断層等で大きな地震が発生する可能性は否定できないため、留意が必要です。

○今回の地震の周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合には、周辺で震度6強以上の強い揺れになると予想されています。

【防災上の留意事項】

地震動(揺れの強さ)に関する留意事項

最大震度	留意事項	積雪の多い地域
最大震度6弱 以上	揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、やむを得ない事情がない限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図るよう心がけてください。 特に、現在大雨警報・注意報が発表されている地域では、大雨による土砂災害に警戒・注意してください。	積雪の多い地域では、屋根からの落雪や傾斜地でのなだれに注意してください。
最大震度5強	揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、危険な場所に立ち入る場合は地震に注意しながらの作業を心がけてください。 特に、現在大雨警報・注意報が発表されている地域では、大雨による土砂災害に警戒・注意してください。	積雪の多い地域では、屋根からの落雪や傾斜地でのなだれに注意してください。
最大震度5弱	揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起りやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。	積雪の多い地域では、屋根からの落雪や傾斜地でのなだれに注意してください。